陸災防神奈川県支部
労災情報(R3.11)

神奈川県内の陸運業の労災

令和３年９月末の速報値

労災事故はさらに増加しています。

☆死傷災害は 139 名(20.9%)増加し803 名となっています。

用語の説明は支部ホームページ参照！

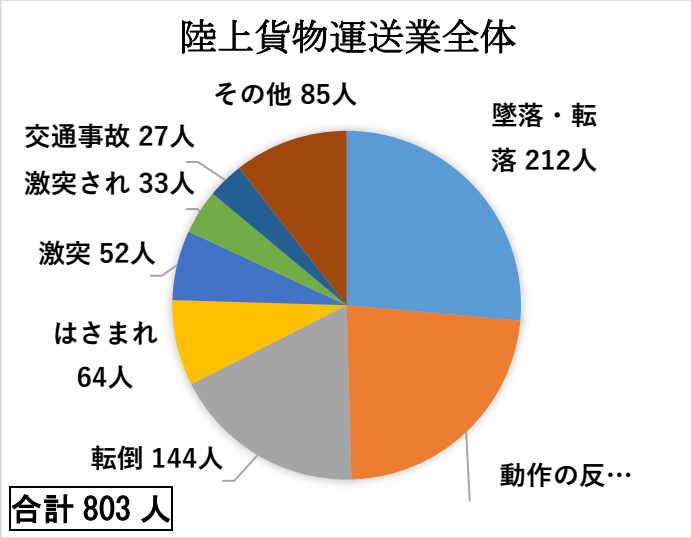
神奈川労働局の集計によると、令和３年９月末(1 月 1 日から 9 月 30 日)における県内の陸運業の労働災害発生は令和２年同期と比較し次のとおりとなっています。

- ✧ 死傷災害は　道路貨物運送業では７２名(＋１４．６%)増加しており、陸上貨物取扱業では６７名(＋３９．０%)増加と両業種で増加しています。
- ✧ 死亡災害は　コロナ関連で１件発生しています。

死傷災害とは、死亡災害と４日以上の休業災害を合計したものです。

１．概　況（神奈川県内）陸上貨物運送事業全体(道路貨物運送業＋陸上貨物取扱業)**・・・(事故の型ワースト６＋交通事故)**

事故の型	墜落・転落	動作の反動(腰痛等)	転倒	激　突	はさまれ・巻き込まれ	激突され	交通事故	その他	合　計
発生件数	２１２	１８６	１４４	５２	６４	３３	２７	８５	８０３
対前年増減	＋６７	＋４５	＋１４	＋５	＋９	＋１	－１３	＋１１	＋１３９
同上増減率	+46.2%	＋31.9%	+10.8%	+10.6%	+16.4%	+3.1%	-32.5%	+14.9%	+20.9%



陸上貨物運送業全体の発生状況

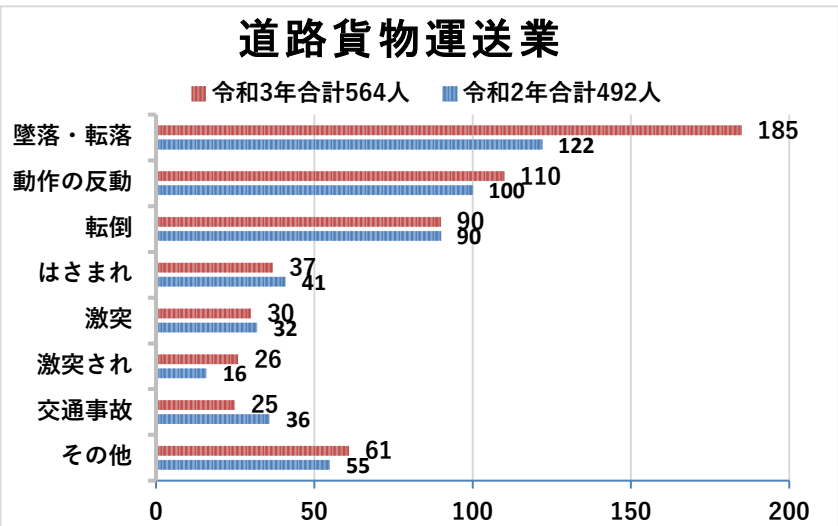
基本操作・行動の励行を！

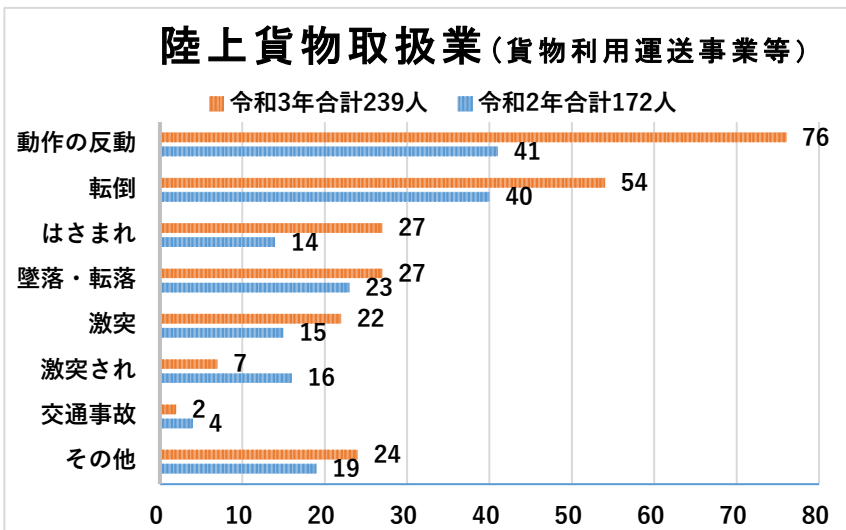
◎死亡災害　（１名発生、下記３死亡災害発生概要参照）
① 新型コロナウィルスにり患した。

◎死傷災害
①墜落・転落災害が４６.２%増加し２１２名となった。
特に道路貨物運送業で５１.６%の大幅増加となっている。
②腰痛等の動作の反動が３１.９%増加し１８６名となった。
特に陸上貨物取扱業で８５.４%の大幅増加となっている。
③転倒災害は１０.８%増加し１４４名となった。
ただ、陸上貨物取扱業で３５.０%の増加となっている。

◎労災事故が過去最多状態の危機的状況が続いていることを労使で共有し、荷役作業を中心にあらゆる対策を講じて労災事故を撲滅しましょう

2. 各業種の概要





☆１　昨年同期に比べ+14.6%(+72 名)増加して 564 名となっている。
☆２　墜落・転落が 51.6%(+63 名)と大幅に増加している。
☆３　転倒災害は同数(90 名)であった。

※１　昨年同期に比べ＋39.0%(＋67 名)増加して 239 名となった。
※２　腰痛等の動作の反動が＋85.4%(＋35 名)と大幅増加している。
※３　転倒災害が＋35.0%(＋14 名)増加している。

３．死亡災害発生概要（陸上貨物運送事業関係）　　**陸災防神奈川県支部収集**

番号	発生地	年月日 曜　日 時　刻	事業の種別 労働者数 職　種	起因物 事故の型	発　生　概　要
1	－	3.1.－ 21 時頃	陸上貨物取扱業 10～29 名 －	その他の起因物 その他	事業場内の集団感染により新型コロナウィルス感染症にり患し 70 代の従業員が死亡した。